

# トピックス ①

## ダヴィンチによる腎臓がん手術が 4月から保険適用に

泌尿器科部長 黒川 寛史

今年の4月から腎臓がんのダヴィンチ手術が保険適用となりました。当院は、安全に手術をするための施設基準や手術実績など条件をすべて満たしていたため、4月6日に保険適用後1人目の患者さんの手術ができました。

腎臓がんの手術方法は大きく分けて2通りあります。腎臓を全部摘出する方法とがんの部分だけを切り取る方法です。腎臓は心臓から送り出された血液の5分の1も流れ込んでいる臓器であるため、腎臓に傷をつけると大出血してしまいます。そこで、がんの部分だけを切り取る手術は難易度が非常に高くなります。実際には、まず、腎臓の血管を一時的に遮断します。次に、がんだけをすばやく切り取ります。そのあと、切り取られた腎臓の腎盂(尿が流れるところ)・血管・腎実質(尿を作るところ)を丁寧に修復します。そして最後に、血流を再開して、出血な

どの問題がないことを確認します。この時間を25分以内に行うことが、理想的だとされています。今回、これらを16分間という短い時間で行うことができ、患者さんの負担を最小限にできました。

当院では、保険適用になる前の2013年4月から腎臓がんのダヴィンチ手術を行っております。保険適用前は、院内・院外の倫理審査を経て手術を行ってまいりました。3年間で早期腎臓がんの患者さん11人に手術を行い、術後再発や転移をきたした方は1人もおられません。

今回の患者さんも無事退院されており、今後もできるだけ多くの患者さんにダヴィンチ手術のメリットを生かすことができれば、と考えております。(前立腺がんのダヴィンチ手術は2012年4月に保険適用となっており、すでに200人以上の患者さんに手術を行っております。)

